

信州への旅

(3) 美ヶ原高原



イワキンバイ



ウスユキソウ



ミヤマダイヤモンドシソウ



ヤマオダマキ

標高2000mの、日本のへソを自称するのが、美ヶ原高原です。ここの王ヶ頭(2034m)から360度の信州の絶景を眺めたのが27年前の11月でした。「夢よ、もう一度」と、高原ホテル山本小屋に宿泊し、楽しむことにしました。天空の草原を王ヶ頭までゆっくりと3時間ほど散策しました。高山植物を見つけては喜び、カメラを握りしめて写しました。真夏でしたが、空気は涼しく爽やかでした。遠くの山々は霞んで、八ヶ岳と南アルプスが見えただけでした。帰って展望風呂の温泉に浸かり、脚をマッサージしながら、飽かずに山々を眺めました。ここのホテルではネパールの山岳ガイドが、閑期の今、日本にやってきて、日本語を覚えるために、アルバイトとして働いておられました。日本の山は物足りないとのことでした。

その夜、夫に起こされて、星が輝く、澄み切った夜空を見ることが出来ました。息をのむような思いで眺めました。天の川が真ん中に長く流れていて、無数の大小の星々、そして流れ星。こんな美しい星空は見たことがありません。空全体がキラキラ、ピカピカと光ってダイヤモンドをちりばめたようでした。

7月31日の早朝、夫を起こして、自然散策教室に参加しました。宿のバスで王ヶ頭まで行き、夢が叶いました。くっきりと八ヶ岳、富士山、南アルプス、日本アルプスの御嶽山、穂高連峰、そして霧がかかった北アルプスを望むことが出来ました。山岳ガイドの宿主は王ヶ鼻まで案内し、岩場の崖に咲く絶滅危惧種の高山植物を見せてくれました。自然を満喫できました。

次の目的地、軽井沢へはビーナスラインを通過して、八島湿原、霧ヶ峰、車山、白樺湖、女神湖を通る道を走りました。今はシシウドが真っ盛りでした。本当に美しい、心休まる大自然でした。白樺湖で黄色に輝く黄金アカシアという珍しい木を見ました。10年ほど前、北海道から取り寄せたそうです。驚きました。



穂高連峰遠望



八島湿原とシシウド



白樺湖の黄金アカシア